

## 沿道環境の方針

### 国道246沿道の課題

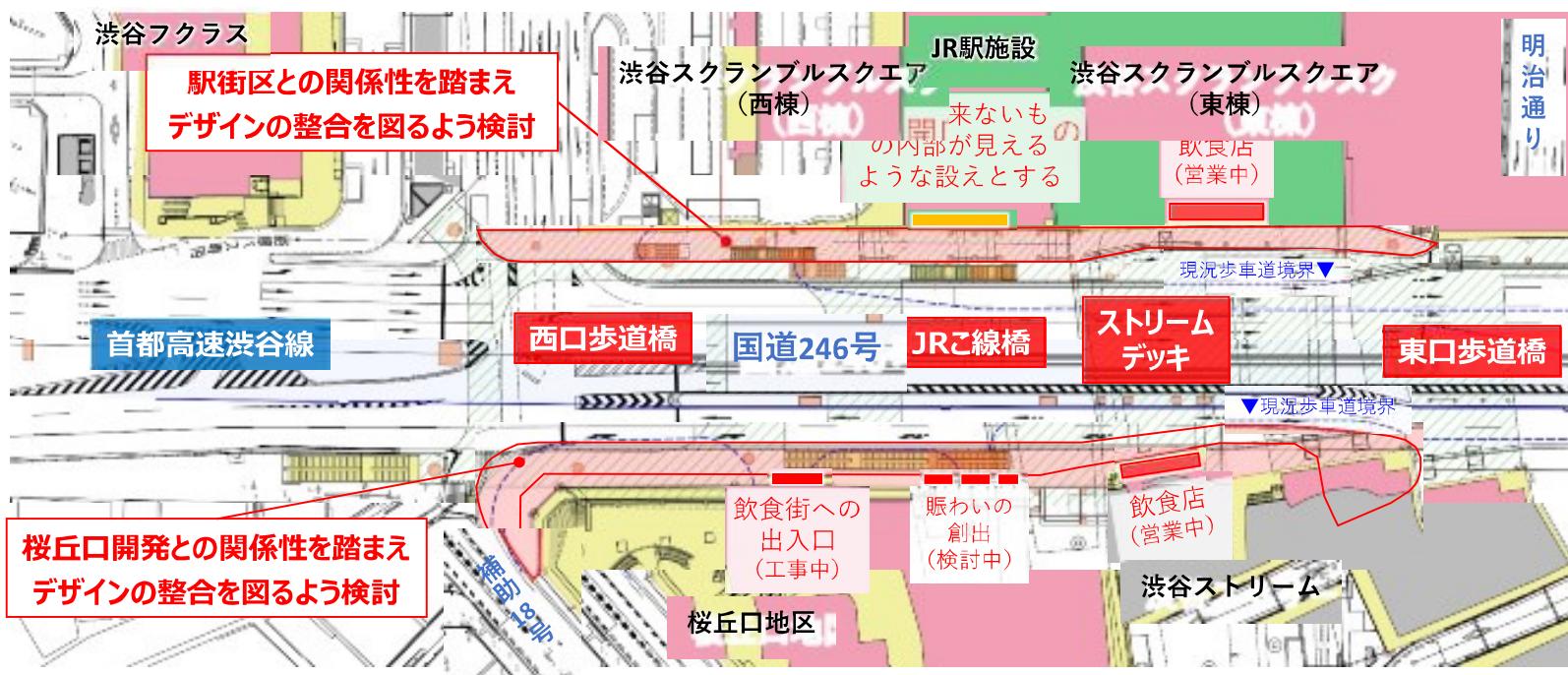
- 国道246号の上空は、鉄道や横断橋、首都高速の施設により塞がれ、閉鎖的な空間となっているため、出来るだけ人目に触れ、明るく、安心できる空間を構築が求められている。

### 基本的な考え方

- 照明施設などで明るい環境を確保する。
- 沿道の建物には出来るだけ店舗などを配置し、賑わいの創出に努める。
- 舗装や転落防止柵などの道路施設と建物との連携したデザインなどにより、良好な空間の確保を行う。
- 普段は歩行者も少ないため、道路空間を活用した賑わいの創出などの検討を行う。
- 清掃などを含め、空間の環境の保全のための検討を行う。

### 検討の方向性

- 歩行者空間の整備にあたっては、北側・南側それぞれの区間でデザインの整合を図るよう検討する。
- 照明は、明るさを重視し、全域を統一したものとする。
- 上部構造物を支える柱に対しても同様にデザイン、照明での演出など検討を行う。
- 賑わいの創出などにより、出来るだけ安心のできる空間づくりを行う。



# 国道246号沿道環境について

## 国道246号南側歩道のデザインについて

- ・国道246号歩道舗装は渋谷川付近～ストリーム前の舗装からの流れをくむデザインとしボーダーが変化しながら桜丘側とストリーム側をつなぐ。
- ・色調は両街区の個性を自然に受け止めるニュートラルなグレーを基調とする。

### 舗装デザインイメージ



JR高架下より



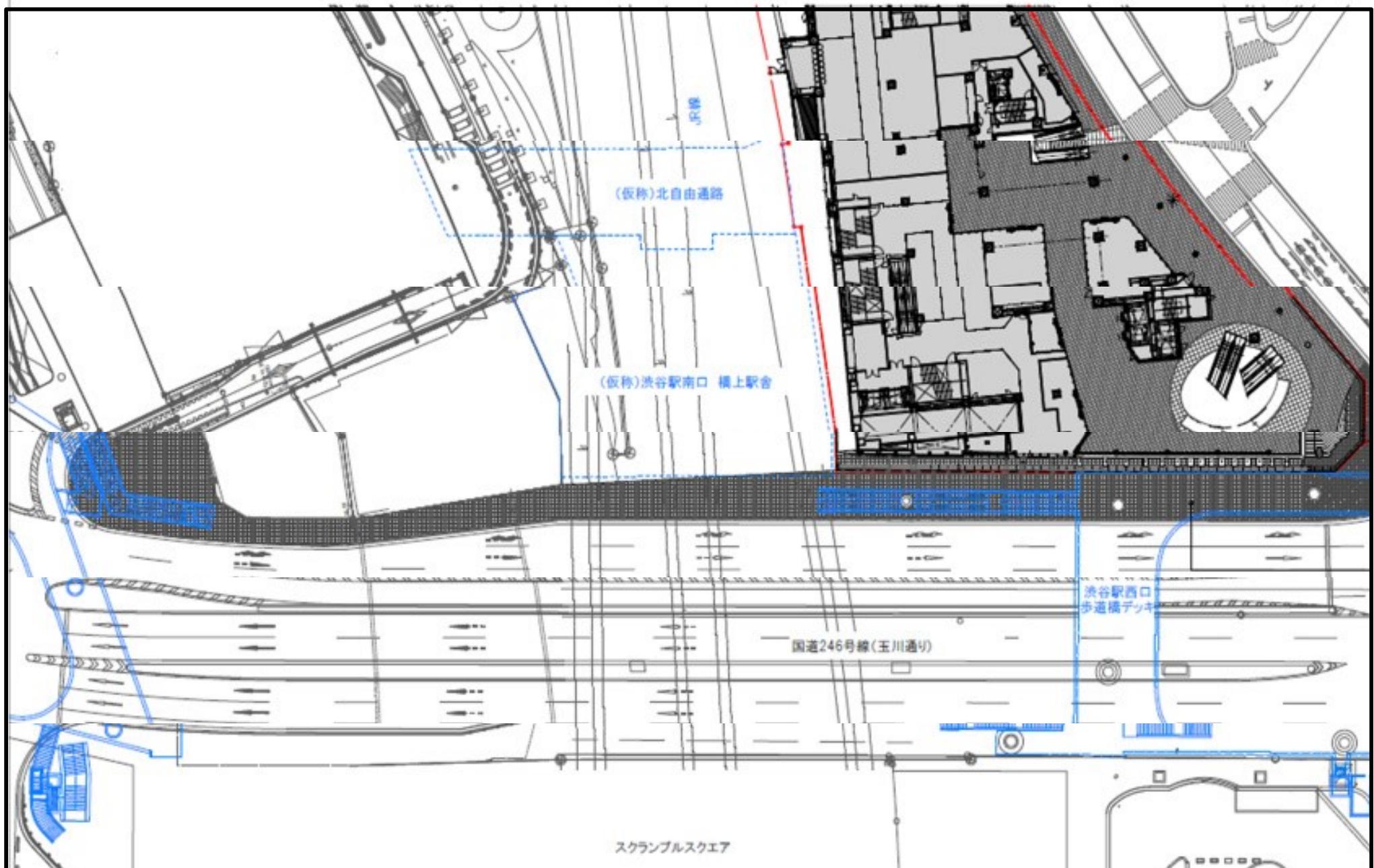
渋谷駅西口交差点より

※北側の歩道デザインについては検討中

# 国道246号沿道環境について

## 参考 国道246号歩道デザイン(南側)検討案 平面図

※令和5年3月6日 第37回渋谷駅中心地区都市基盤施設調整デザインWG付議資料を基に最新の図面に更新



東西地上広場については、2022年度より大山街道整備事業と一体でデザイン検討を進めており、宮益坂ならびに東口広場の整備時期を踏まえ、2023年度上期末を目途にデザイン基本計画確定予定。

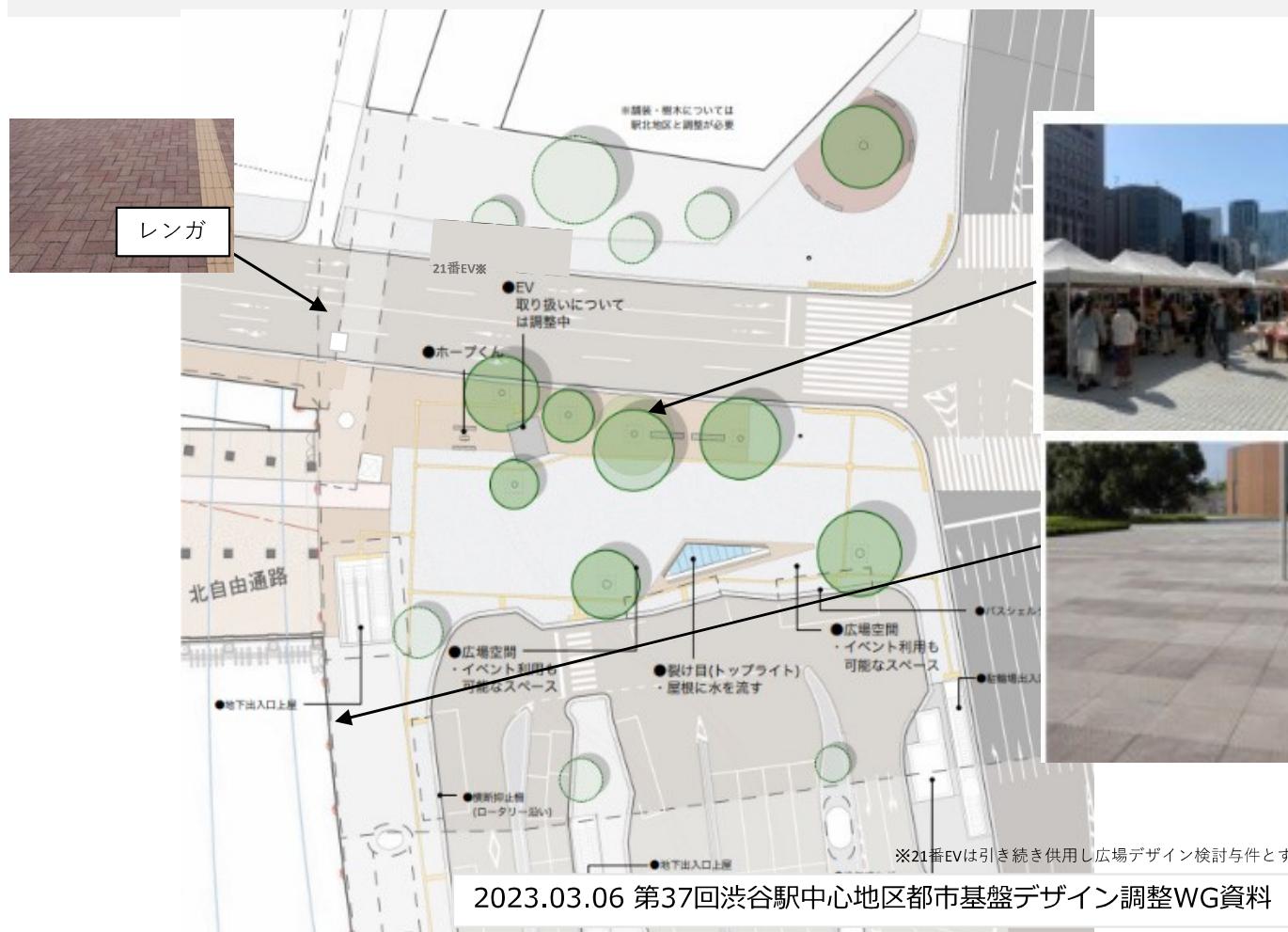
### ■東口地上広場デザインについて：デザインの考え方とコンセプトについては以下の方向で検討している

#### 【デザインの考え方】

- ・青山方面への玄関口としての機能
- ・ケヤキの魅力を受け継ぐ
- ・緑の下に多様な活動が出来る場をつくる

#### 【コンセプト】

緑に包まれたGROUND CANVAS



本資料内容は現在検討中のものであり、今後、計画の進捗等に併せて変更の可能性あり

#### 地元からのご意見

並木を活かしたデザインや大山街道と連携した広場のデザインについては概ね理解

トップライトについては様々な使われ方を想定してデザインを検討してほしい

#### 学識・行政委員会での主なご意見 (基盤デザイン調整WG等)

コンセプトについては東西で同じ内容を別の単語で表現する状態なので、文言のブラッシュアップが必要

上屋とファニチャーについては今後議論を深化したい

トップライトのデザインや使い方については引き続き検討が必要

舗装ではなくファニチャー等の立ち上がりものに重点をおいてグレードを上げる案もあるのではないか

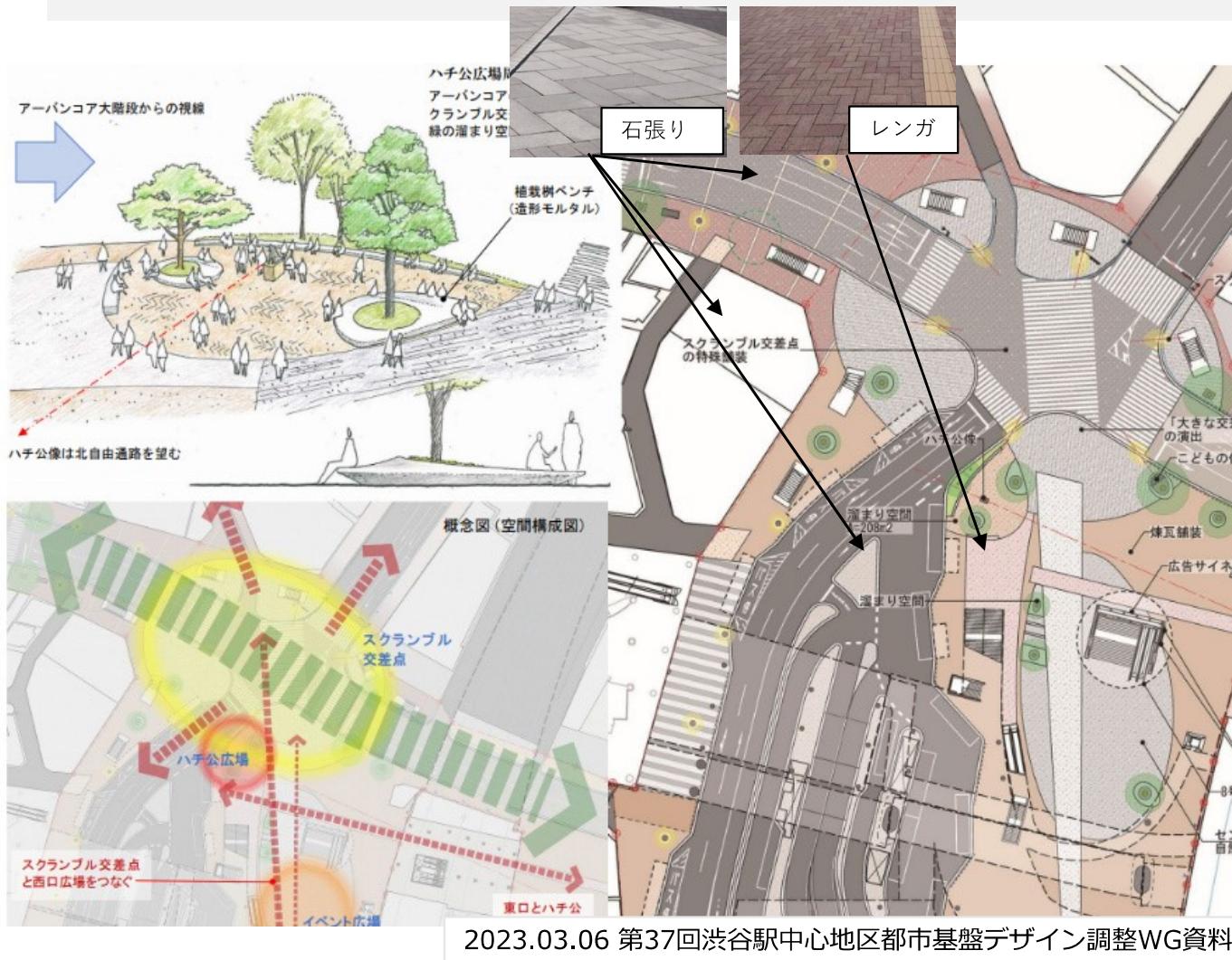
## ■西口地上広場デザインについて：デザインの考え方とコンセプトについては以下の方向で検討している

### 【デザインの考え方】

- 渋谷の顔『ハチ公像』の位置、歩行空間、滞留空間を  
デザインの骨格にする事で  
さまざまな活動が共存できる場を演出する。

### 【コンセプト】

ヒューマンフロント都市の  
グラウンド・ファサード（仮）



### 地元からのご意見

ハチ公位置や動線と溜まり空間の考え方について概ねはご理解

照明等でのハチ公の目立たせ方については別途検討してほしい

### 学識・行政委員会での主なご意見 (基盤デザイン調整WG等)

コンセプトについては東西で同じ内容を別の単語で表現する状態なので、文言のブラッシュアップが必要

上屋とファニチャーについては今後議論を深化したい

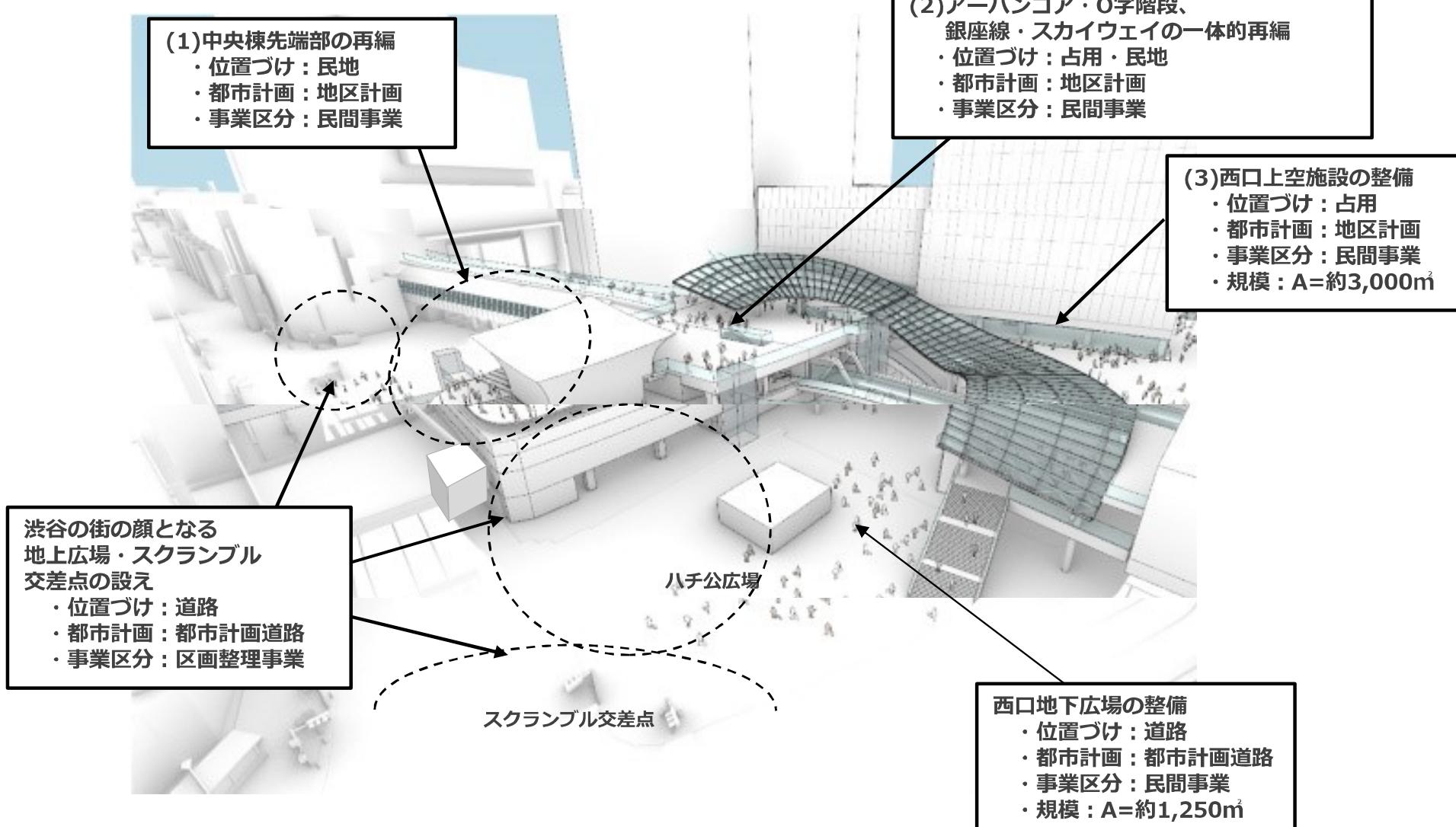
原案だとハチ公周辺の空間がスクランブル交差点の付属物のように見えるので、デザインの調整が必要

舗装ではなくファニチャー等の立ち上がりものに重点をおいてグレードを上げる案もあるのではないか

## ■ 渋谷駅中心地区の基盤整備について

- ・現行の都市計画決定後、社会の潮流も踏まえながら渋谷駅西口の基盤施設計画を深度化してきた。
- ・計画の深度化に伴い、個別に検討してきた各基盤施設計画を一体的にアップデートすることで、空間の改良やパブリックスペースの拡充を図ることとし、5つの基盤計画〔変更計画案〕に対する議論の結果、2022年9月のまちづくり調整会議にて変更計画とした。
- ・今回は、変更計画についての都市計画変更を進めるにあたり、2022年9月のまちづくり調整会議からの検討事項を報告する。

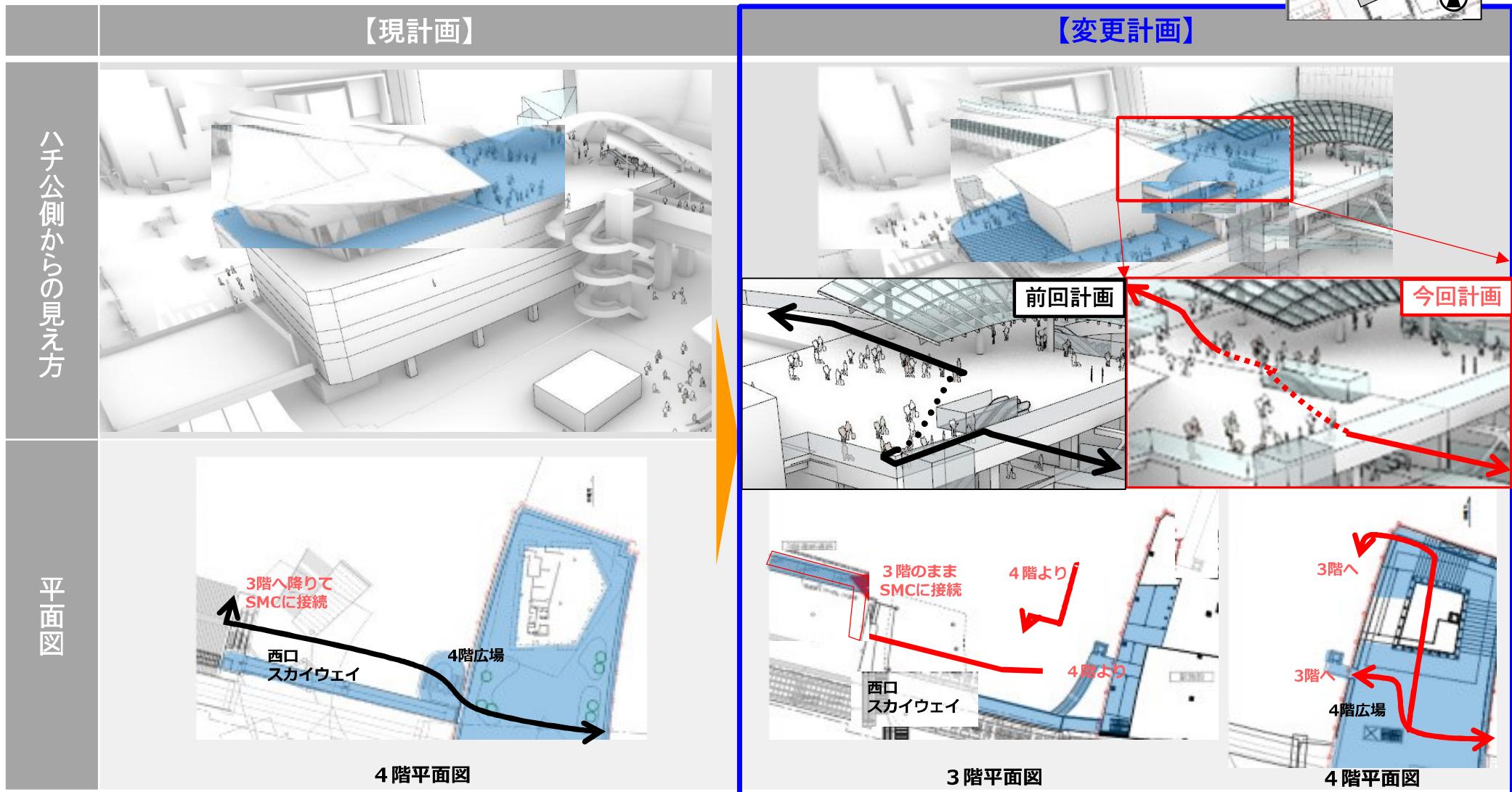
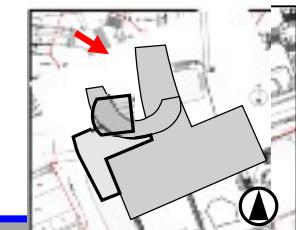
### 5つの基盤計画について〔変更計画〕



## (1) 中央棟先端部等の変更

### ■ 変更計画

- 前回まちづくり調整会議時点から、ESCの向きを見直し、スカイウェイと連続する向きへ変更
- 先端部広場の一部をなだらかな傾斜形状で4階から3階に下り、西口スカイウェイと3階で接続する。



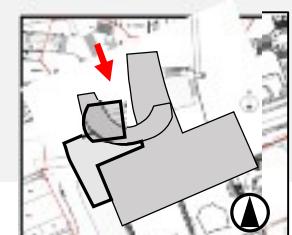
※本資料内容は現在検討中のものであり、今後、計画の進捗等に併せて変更の可能性あり

## (2) 西口アーバンコア、スカイウェイ、銀座線等の変更

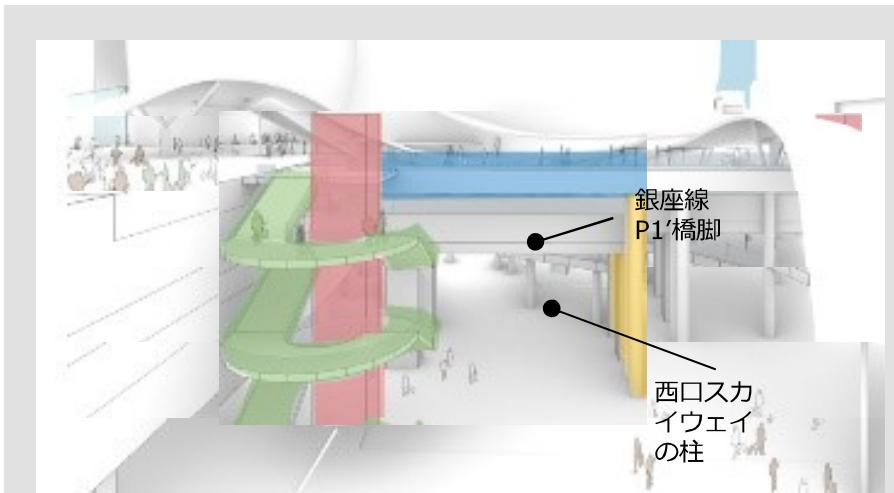
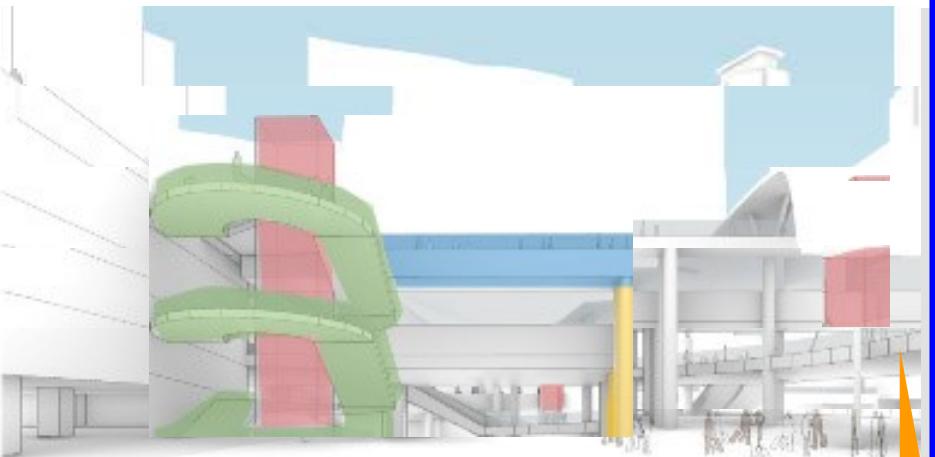
2022.09.28 第20回 渋谷駅中心地区まちづくり調整会議資料\_再掲

### ■変更計画

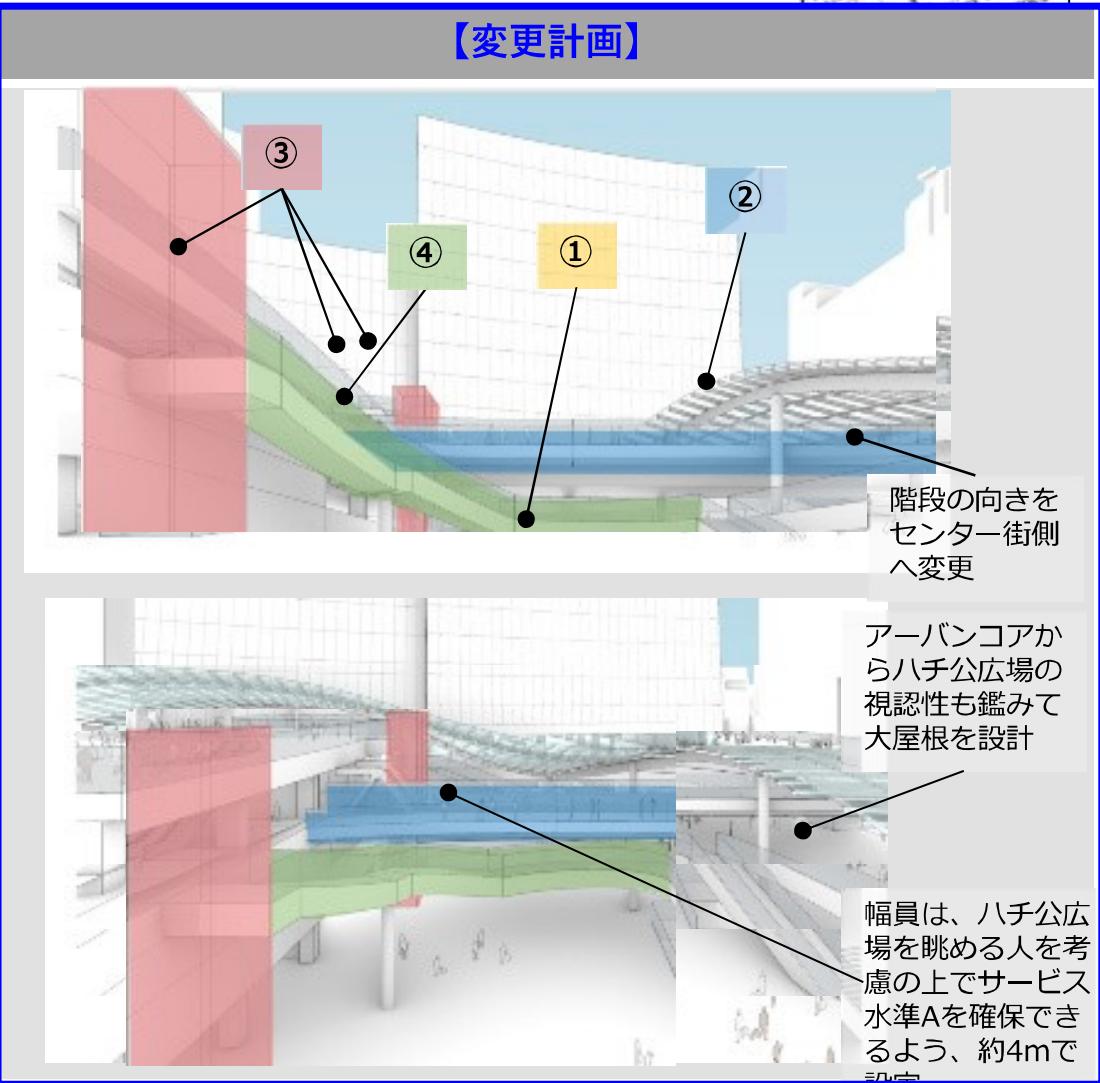
- 変更①・変更②** 地上動線の真ん中に位置する柱を削減し、西口スカイウェイを銀座線レベル(3階)に下げる
- 変更③・変更④** EVを再配置し、O字階段とアーバンコアを一体的に再編する



【現計画】



【変更計画】



※本資料内容は現在検討中のものであり、今後、計画の進捗等に併せて変更の可能性あり

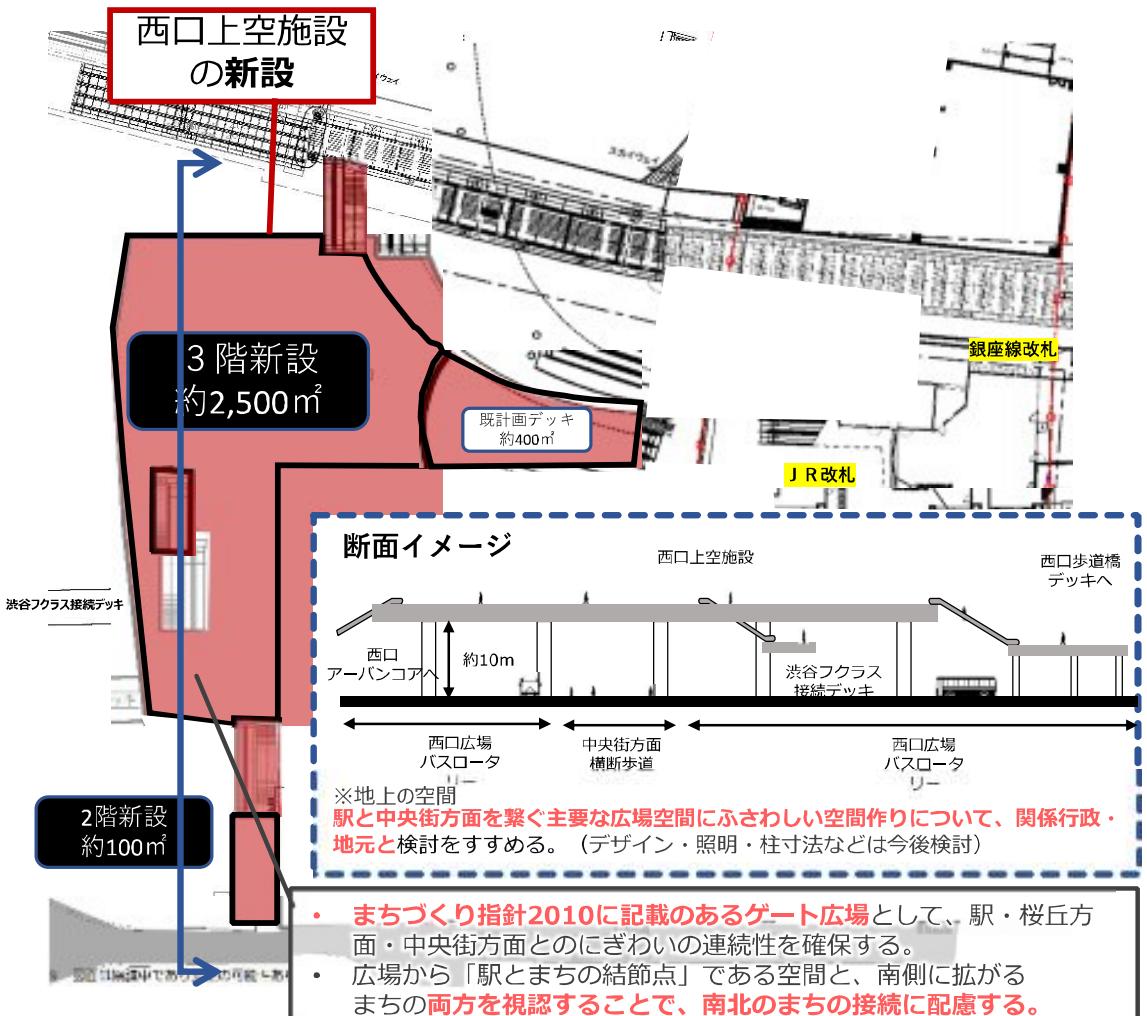
## (3) 西口上空施設の整備

2022.09.28 第20回 渋谷駅中心地区まちづくり調整会議資料\_再掲

## ■変更計画

- 渋谷駅前によりゆとりある快適でまちへの回遊を促す駅前広場空間を創出するため、西口3階に約3,000m<sup>2</sup>の広場空間を確保する。
- JR3階改札・東口方面・道玄坂方面・中央街方面・桜丘方面と繋がる結節点として、待合せや休憩、まちのにぎわいを感じることができる空間、まちをめぐり歩くきっかけとなる空間、まちの発信ができる空間、イベントスペース等を確保する。

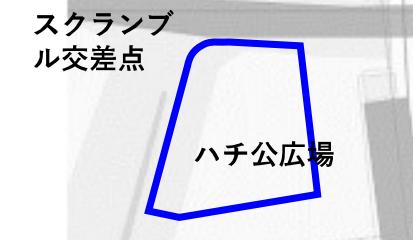
## ●整備範囲と面積



※本資料内容は現在検討中のものであり、今後、計画の進捗等に併せて変更の可能性あり

## ●周辺事例

- 現在のハチ公広場 全体約2,500m<sup>2</sup>



→西口上空施設では、よりゆとりある快適な駅前広場を実現

## ●導入機能と面積

- 主な利用：通路機能+ゲート（待合せ）、憩い・潤い・リラックス

広場ビジョンの期待面積の考え方を流用して期待機能・付加価値を鑑みると、通路に加えて約900～1,200m<sup>2</sup>のゲート（待合せ）、憩い・潤い・リラックスを配置

※1 (日常的なにぎわい活動も行うことで、憩い空間の価値を高める)  
+ 情報発信機能

→休日・祝日等には、交流・にぎわい機能へ転用も可能

※広場ビジョンの期待面積では、北西の発信力を活かすにはある程度まとまった空間（1,500m<sup>2</sup>程度）が期待されている

→災害時には、一時避難場所等でも有効に活用

※渋谷駅周辺地域都市再生安全確保計画では2027年時点で一時避難場所66,360人分不足と言われている植栽等滞在不可能な場所を鑑み70%の利用とするため、1人/m<sup>2</sup>として一時避難場所94,800m<sup>2</sup>必要

※1 空間の質等付加価値向上で、より快適な広場滞留空間を創出  
待合せの占有原単位〔1.3m<sup>2</sup>/人〕は憩い・潤いの単位を使用〔12m<sup>2</sup>/人〕。  
付加価値により発生率が1.0～1.5に増加

⇒前面通行量5千人/ピーク時×〔待合せ発生原単位7.2人/千人+休憩発生原単位2.3人/千人〕  
×発生率1.5～2×長時間利用占有面積12m<sup>2</sup>/人= 約900～1,200m<sup>2</sup>

## (3) 西口上空施設の整備

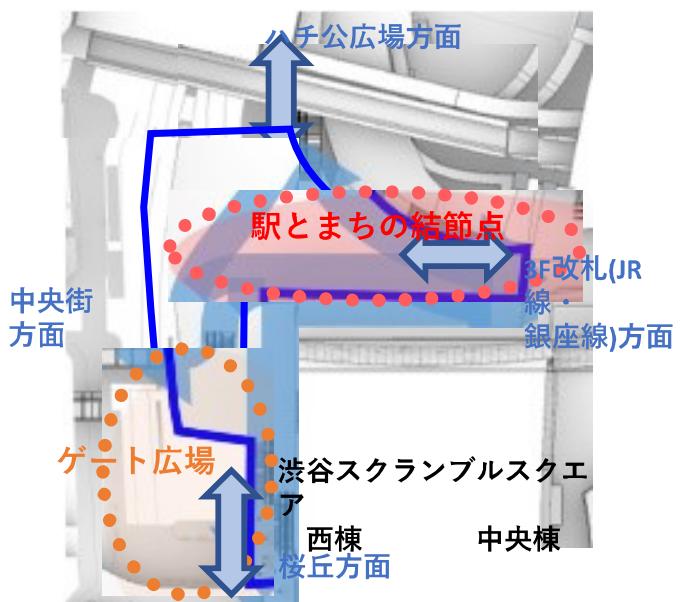
2022.09.28 第20回 渋谷駅中心地区まちづくり調整会議資料\_再掲

**■変更計画案により期待される効果**

- ・ JR 3階改札・東口方面・道玄坂方面・中央街方面・桜丘方面と繋がる  
デッキレベルでの東西南北のまちの繋がりの強化のための結節点となる空間が創出される。
- ・ 桜丘方面との空間的な繋がりが創出され、『まちづくり指針2010』に基づき「南北の繋がりあるまちづくり」が強化される。
- ・ 『広場ビジョン』において期待されている、場所の発信力を活かしたある程度まとまった空間が3階改札付近につくられ、駅前広場のような多目的利用ができるゆとりある空間が創出される。

**●利用イメージ** (地元の声：回遊性を高める仕組み、まちの発信、イベントスペース等)

西口上空施設及び周辺計画

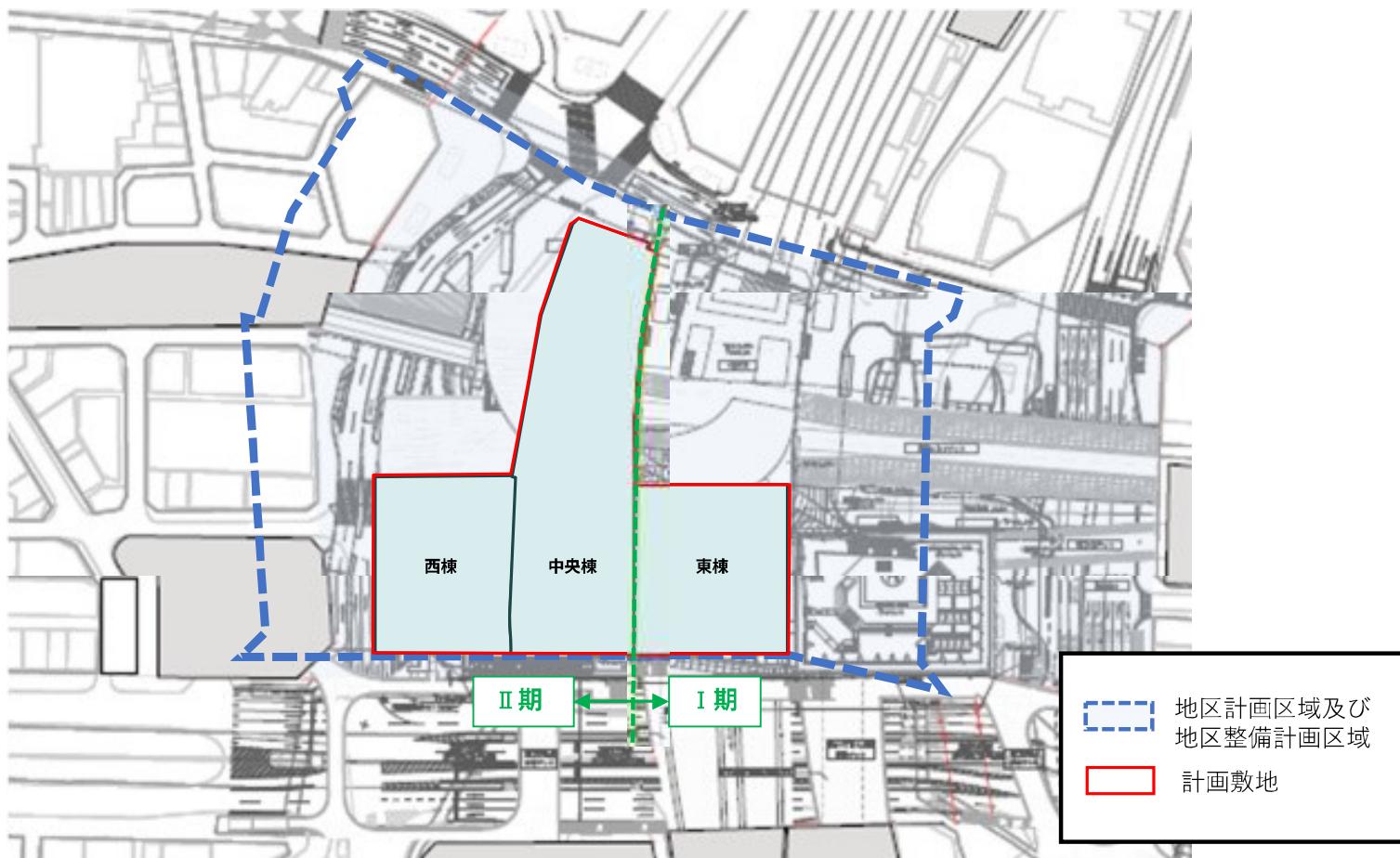
**●防火機能について**

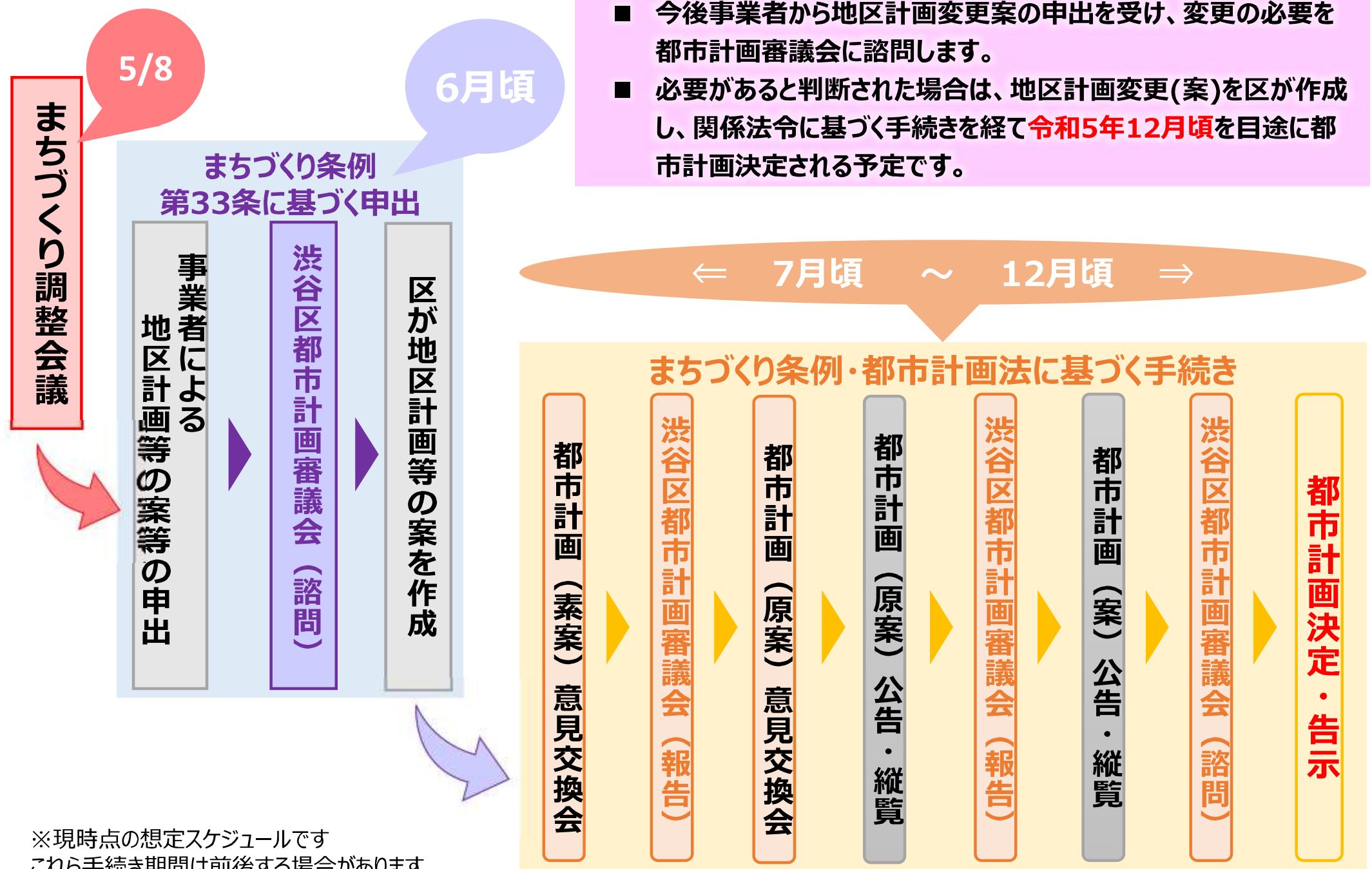
- ・ 新たな公共空間である西口上空施設を「渋谷駅周辺地域都市再生安全確保計画」の優先して取り組むべき課題  
「一時避難場所不足解消の有効対策、渋谷駅周辺の滞留者安全確保対策」を受けて、災害時の有効活用を図る。

※本資料内容は現在検討中のものであり、今後、計画の進捗等に併せて変更の可能性あり

渋谷駅地区では、2011年に地区計画が策定され、2013年には都市再生特別地区の決定、並びに地区計画の変更を受け、2019年に東側を中心とする第Ⅰ期の開業を迎えていた。今後、第Ⅱ期を進めるにあたり、基盤計画（変更計画）をもとに地区施設の変更を行う予定である。

位 置	東京都渋谷区渋谷二丁目、渋谷区道玄坂一丁目、渋谷区道玄坂二丁目地内
面 積	約4.3ha
地 権 者	3者（東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)）
そ の 他	渋谷駅街区区画整理事業（事業中）





# 1. 渋谷駅前エリアマネジメント 2022年度活動報告及び2023年度活動計画

【凡例】赤字：今回ご報告対象

活動項目	活動項目の内容（設立時）	2022年度 活動振り返り	今後の課題 (2023年度期初)	2023年度 活動項目
(1) 事業計画策定	・協議会の年間行動計画及びスケジュールの策定・公表	・ITシステム（卓議・会計・情報共有DB）の構築（事務局3社） ・会計仕組みの管理構築（売掛金残高管理等）	・現状の棚卸と今後の中期的方針、体制の検討 ・ITシステムの活用強化による業務効率及び組織力向上 ・内部統制仕組み構築	・中期事業計画（2024～2027年度）策定、将来に向けた組織のあり方検討 ・IT活用の強化と内部統制チェック体制の導入
(2) 施設の管理	・公共施設及び公共的施設における箇所別清掃方針等 ・公共施設及び公共的施設における維持修繕方針等	・道路維持管理本格運用に向けた活用方針策定 ・アートによる落書き防止 ・落書き対策の取組に対する渋谷区後援の整理	・官民一体となった施設管理ルール運用後の課題提起・解決 ・将來整備される公共空間を考慮した維持管理ルール ・国道246号沿道環境の検討	・渋谷区と連携した道路維持管理の仕組みづくり ・国道246号沿道環境改善に繋がる仕組み検討
(3) 広場の利用	・広場利用案の策定 (対象広場、利用目的、使用料金の有無)	・桜丘口地区道路上空テツキ活用の検討 ・東口地下広場イベント実施等による賑わい創出（SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA、Shibuya Street Piano 等）等 ・アートによる落書き防止、工事中の賑わい創出 ※「(7)工事中の魅力付け」シブヤ・アローブロジェクトの通り	・ハチ公広場における広場条例の継続検討（駅周辺の誘導・客引きの増加）	・ハチ公広場における広場条例の検討 ・都市利便増進協定書の締結 ・東口地下広場イベントの更なる実績拡大による賑わい創出 ・スマートシティ化に向けた計画策定
(4) 街区共同イベント	・イベントの実施（まちびらきイベント含む）	・まちびらきⅢ期に向けた体制検討	・桜丘口竣工によるまちびらきⅢ期の対応 ・カウントダウンイベントの整理	・まちびらきⅢ期に向けた計画策定・体制構築
(5) 屋外広告物地域ルール	・地域ルール・審査基準等の策定 ・地域ルール等について東京都との協議・調整 ・審査会の組織案策定・運営	・旧東横店解体後広告跡地媒体設置 ・神宮通り上空通路窓面広告のトライアル展開 ・SCSQまちづくり還元金運用後の課題提起・解決	・広告ルール順守の周囲への理解促進	・東口工事ヤードの広告掲出検討 ・SCSQビジョン運用報告、還元金使途整理（特例小委員会）
(6) 情報発信	・HPを活用した情報発信、インフォボックスの実施 ・デジタルサイネージ・大型ビジョン等の活用検討	・HP、インスタ運用見直し ・東京都立大学継続検討 ・シブヤ大学連携「しぶやをつくるゼミ」2期の実施 ・プレスリリース配信サービスの活用	・HPの情報発信の整理とBtoCのコミュニケーション ・シバ大学を始めとする渋谷の他組織との協同による意義の整理 ・東京都立大学との取組の今後の検討	・HP、インスタ、プレスリリース等を通じたタイマーな情報発信 ・シバ大学連携「しぶやをつくるゼミ」3期の実施 ・東京都立大学連携施策の継続実施 ・任意協議会10周年に伴いイベント実施を通じた情報発信
(7) 工事中の魅力付け	・歩行者サービスの向上（歩行者ネットワーク、案内サイン等）に関する外部会議計画案に対する意見聴取及びその周知方策 ・開発図面の情報共有	・仮囲いや橋脚柱における賑わい創出の実施 ①エリマネ活動の情報発信（写真） ②Shibuya Startup Deck連携パブリックアート展開 ③シブヤ・アローブロジェクト（NHKエンターブライズ・ブラジル大使館） ④ライブアート「Mural Rookies Project @SHIBUYA」（民間企業連携） ⑤PLACEMAKING ART in SHIBUYA（民間企業連携） ・西口地下タクシープール（SHIBUYA FASHION WEEK 2023 ランウェイイベント）	・工事中の工作物に対する掲出物に対する整理 ・アート展開の全体整理 ・西口地下タクシープールの活用に関する持続的な仕組み構築	・工事中の仮囲い取組の継続実施 ・アートにおける全体方針の策定
(8) 防災・防犯	・各街区における災害対策・計画のとりまとめ及び公表 ・災害時の情報連携方策の策定 ・避難訓練の実施等	・渋谷駅前エリアセキュリティに関する協定の締結（施設運営者・管理会社・警備会社・エリマネなど 9者） ・東口地下広場を活用した行政・警察・消防・事業者との連携による防災訓練の実施（浸水対策・テロ対策）	・エリアセキュリティの検証と連携実績の拡大 ・災害時対応の見直しの実現化 ・防災機能を実装したデジタルサイネージ・広告媒体の検討およびスマートボール等の占用基準整理 ・スマートシティ化に向けた計画策定	・各施設間における防犯連携体制の強化による有事対応の仕組化 ・駅中心地区の合同防犯訓練 ・公共空間でのスマートシティ施策の検討
(9) 環境・エネルギー	・各街区におけるエネルギー利用状況のとりまとめ及び公表	・環境AEMSのデータ検証 ・SHIBUHACHI BOXにおける再エネ運用の実施 ・環境啓蒙活動イベント「はらべごベトベタ」実施	・新たな環境PRの検討	・環境AEMS本格運用に関するデータ取りまとめ ・エリマネ環境PR活動
(10) 観光	・既存組織（渋谷区観光協会等）との連携等の検討	・観光ツアーの導入検証 ・協賛企業や観光協会連携の検討	・インバウンド回復に伴う、新たな観光支援方針の検討（渋谷区観光協会連携） ・観光ツアーの全体整理	・観光ツアーのSNS・仮囲い・HPによる情報発信 ・特別体験ツアー（ハチ公回遊・現場体験ツアー）の実施 ・ハチ公10周年における情報発信支援 ・SHIBU HACHI BOX次期協賛プロポーザルおよび施設機能改善
(11) 駐車場運用	・渋谷駅周辺における駐車場運用に関する検討（組織体制、サービス体系、料金体制、案内誘導施策）	・23年度桜丘地区開業に伴う準備	・QRコード対応に関する設備見直し	・桜丘開業に伴う規約改定
(12) デザイン・基盤調整	・大規模建築物等のデザインの変更点について調整 ・基盤計画に関する基盤整備方針からの変更点について調整 ・歩行者ネットワークの開放時間の変更について調整	・桜丘広場（結節広場）シンボルマークの策定 ・案内サインのデータ更新	・渋谷駅前サインガイドライン運営委員会の持続的な運用体制の構築 ・隣接する他の開発街区を含めたサインルールの策定 ・東口広場（結節広場）シンボルマークの検討 ・案内サインのデータ更新	

# 1. 渋谷駅前エリアマネジメント 2022年度活動報告及び2023年度活動計画

## (1) 屋外広告

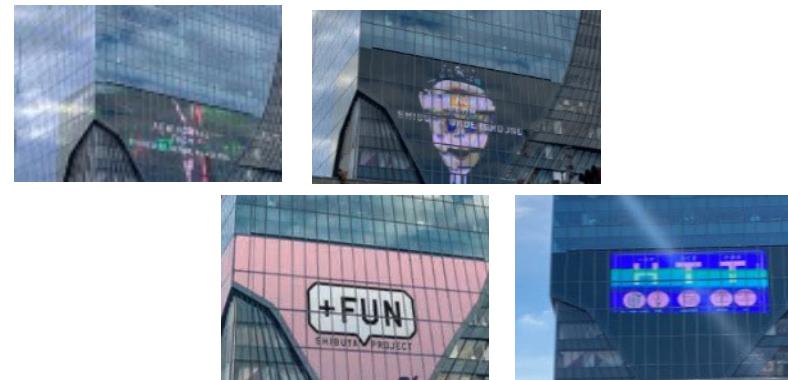
### ①旧東急百貨店東横店解体足場広告

解体前、解体中の仮囲いでの掲出に引き続き、解体工事用の足場にも広告を掲出し、工事期間中の賑わい創出を一体的に掲出して実施。



### ②渋谷スクランブルスクエア外壁ビジョン

2020年10月より本格運用を開始し、安定的な収益を確保しながら実施している。広告・公共枠の放映を行いながら、還元金を原資としたまちづくり活動を実施



## (2) 工事中の魅力付け（落書き防止対策等含む）

工事中の仮囲いを活用し多様な賑わい創出施策を実施。次年度は、アート施策など、全体方針を整理し質向上を図る。

### ①シブヤ・アロー・プロジェクトの取り組み

発災時に一時的に退避する一時退避場所の位置・方向を矢印サインで示すアート施策「シブヤ・アロープロジェクト」に協力。

工事中仮囲いや広告掲出スペースの装飾・美装化を実施。

- ブラジル大使館・NHKと連携
- 場所：渋谷マークシティ跨道橋支柱
- 掲出開始時期：11月末～



ブラジリアンアート

### ②Shibuya Startup Deck(渋谷区)と連携「ENLIGHTEN」

工事中の賑わい創出、落書きの防止、新たな担い手の創出を目的として、Shibuya Startup Deckの主催するパブリックアートプロジェクト「ENLIGHTEN（オンライン）」に共催として参画

- 場所：旧東横店北面地上部仮囲い、西口仮囲い、西口交差点銀座線橋脚
- 期間：2023年2月16日～2月28日



### ③上記以外の取り組み

#### ・エリマネ情報発信



#### ・仮囲いを活用したライブペイント



# 1. 渋谷駅前エリアマネジメント 2022年度活動報告及び2023年度活動計画

## (3) 広場の利用

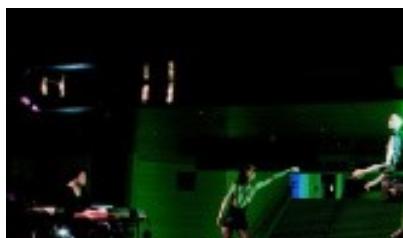
広場等を活用し、多様なイベント、撮影やファッションショーなどを展開。地域と連携し、社会課題の解決にもつながる広場の有効活用策拡大を図る。

### ① 東口地下広場

#### <文化振興プロジェクトを活用した広場PR>

音楽家・渋谷慶一郎氏とのプロジェクトを東口地下広場（夜間）にて撮影し、渋谷スクランブルスクエアのビジョンで放映。文化の発信とともに、東口地下広場の新たな活用イメージを訴求。

■ 時期：2022年10月4日～



#### <渋谷芸術祭との連携イベント>

「渋谷芸術祭」と連携した、折り紙ワークショップや渋谷区交通安全教室の実施

■ 時期：2023年11月



### ② 西口地下タクシープール

初の有観客（2日間延1,400人）ファッションショーを実施し、駅前公共空間の活用の幅を模索

#### <TOKYO CREATIVE SALONとの連携企画>

東京都が推奨する日本のファッション産業が世界に発信するためのイベントの一環として有観客のファッションショーを実施し、オンラインで配信。継続的な賑やかしの仕組み構築が今後の課題。

■ 時期：2023年3月17日、18日

#### <Shibuya Street Piano 渋谷駅東口地下広場>

アーティストと連携したストリートピアノイベントを実施。プロの演奏者6名が参加

■ 時期：2023年3月5日（日）9:00～19:30



#### <「ハチペイ」×「美味しい渋谷区」イベント>

渋谷区キャッシュレス決済アプリ「ハチペイ」を体験するイベントを、既存のプロジェクト「美味しい渋谷区PJ」によるマルシェとともに開催。

■ 時期：2023年3月30日～3月31日



# 1. 渋谷駅前エリアマネジメント 2022年度活動報告及び2023年度活動計画

## (4) 情報発信

### 大学連携

#### <東京都立大学との連携施策>

渋谷スクランブルスクエア東棟外壁ビジョンにて、東京都立大学の学生とともに渋谷らしい景観形成を目的とした映像作品の制作やアートを放映。



#### <「しぶやをつくるゼミ」第2期>

渋谷のまちづくりについて一般市民と対話する場を設けて、まちへのニーズや意見を吸い上げて新たなイベントやコンテンツの創出を図る。

■期間：2023年1月12日～3月9日（全4回）



## (5) 観光

### SHIBU HACHI BOX TOUR（観光ツアー）

駅前をスタート地点とした回遊観光ツアーを10月より実施し、今後の取組を検証

#### ①渋谷定番スポット巡りツアー（月2開催）

渋谷の歩き方を知りたい、渋谷の人気スポットを中心に紹介する初心者向けツアー

#### ②渋谷タイムスリップツアー 過去・現在・未来を歩く（月1開催）

地域住民や渋谷をもっと知りたい方向けのよりディープなツアー。東口エリアを中心に渋谷の歴史や歩み、未来の渋谷の姿を紹介。



## (6) 防災・防犯

### 防犯連携体制の構築

#### <東口地下広場における訓練の実施>

浸水実働訓練、テロ対策訓練を実施。実働形式の訓練を行うことで課題の分析や改善方法を検討、参加者からも実効性を高められたとの評価を受けた。



#### <「渋谷駅前エリアセキュリティに関する協定」の締結>

・有事が発生した場合、警察・消防と連携しながら、各施設が協力して被害拡大防止に取り組める体制を構築できるよう、「渋谷駅前エリアセキュリティに関する協定」を締結。エリマネ活動範囲での防犯連携を深めていく。

## (7) デザイン・基盤調整

### 渋谷駅前サインガイドライン運営委員会における活動

#### <「桜丘広場」シンボルマークの制作>

「Shibuya SakuraStage」内に設置される「結節広場」の名称が「桜丘広場（さくらがおかひろば）」に決定したことにより、渋谷駅前サインガイドライン運営委員会において、「桜丘広場」のシンボルマークデザインを制作。桜丘町のシンボルであるさくら坂や広場名称をモチーフにデザインした。23年度は、東口広場のシンボルマークを制作予定。



# 1. 渋谷駅前エリアマネジメント 2022年度活動報告及び2023年度活動計画

## ■2023年度重点施策

### ①快適かつ魅力的な公共空間実現のためのモデル構築

- ・工事中の賑わい創出、案内誘導サイン整備と道路還元の仕組み構築の組み合わせによる快適な歩行者空間の実現を目指す
- ・持続的なクリエイター挑戦のプラットフォームを構築しながら、公共空間の賑わい創出を継続的に実施
- ・国道246号沿道環境改善に繋がる仕組み検討

### ②まちの動きに応じたイベント・PRの実施とモデル構築

- ・渋谷駅前エリアマネジメント協議会設立10周年、まちびらきⅢ期等、まちの動きと連携したイベントを実施
- ・HPやリリースによるタイムリーかつ効果的な情報発信及び他団体との連携によるPR等の実施

### ③スマートシティ・防災防犯・環境施策に関する計画・実行

- ・防犯連携協定をベースとした関係者連携の深化化（街区合同での防犯訓練の実施・情報連携の強化）

快適かつ魅力的な公共空間の実現のための具体的施策



落書き防止、工事中の賑わい創出に繋がるアート施策を継続して展開



まちの動きに合わせたサイン整備体制の構築



国道246号沿道も含めた賑わい創出の検討